

TAKAYOSHI

株式会社タカヨシホールディングス

2025年9月期 第1四半期決算説明資料

2025年2月10日





1.2025年9月期第1四半期 決算ハイライト

業績サマリー（第1四半期連結累計期間）

営業収益

2,064百万円

前年同期比

+4.4%

業績予想進捗率

26.1%

営業収益、
営業利益共に
業績予想を
上回る実績で推移

営業利益

207百万円

前年同期比

△21.7%

業績予想進捗率

28.3%

主要な経営指標（KPI）

流通総額

7,065百万円
(前年同期比+2.8%)

店舗数

192店舗
(前期末より4店舗増)

登録生産者数

32,270件
(前期末より612件増)

流通総額、営業収益は過去最高 通期業績予想における進捗は、順調に推移

野菜・果実の強化を進め、また、出店を継続したことで、流通総額、営業収益は過去最高の実績となる。

販管費においては、人件費や売上増に伴う地代家賃の増加、水道光熱費の上昇により、利益面で前年同期を下回る結果となった。

（単位：百万円）

	2024/9期 1Q実績	2025/9期 1Q実績	変動率	通期業績予 想	進捗率
流通総額	6,872	7,065	+2.8%	26,961	26.2%
営業収益	1,978	2,064	+4.4%	7,925	26.1%
営業利益	265	207	△21.7%	735	28.3%
経常利益	261	203	△21.9%	720	28.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	144	70	△51.5%	300	23.4%

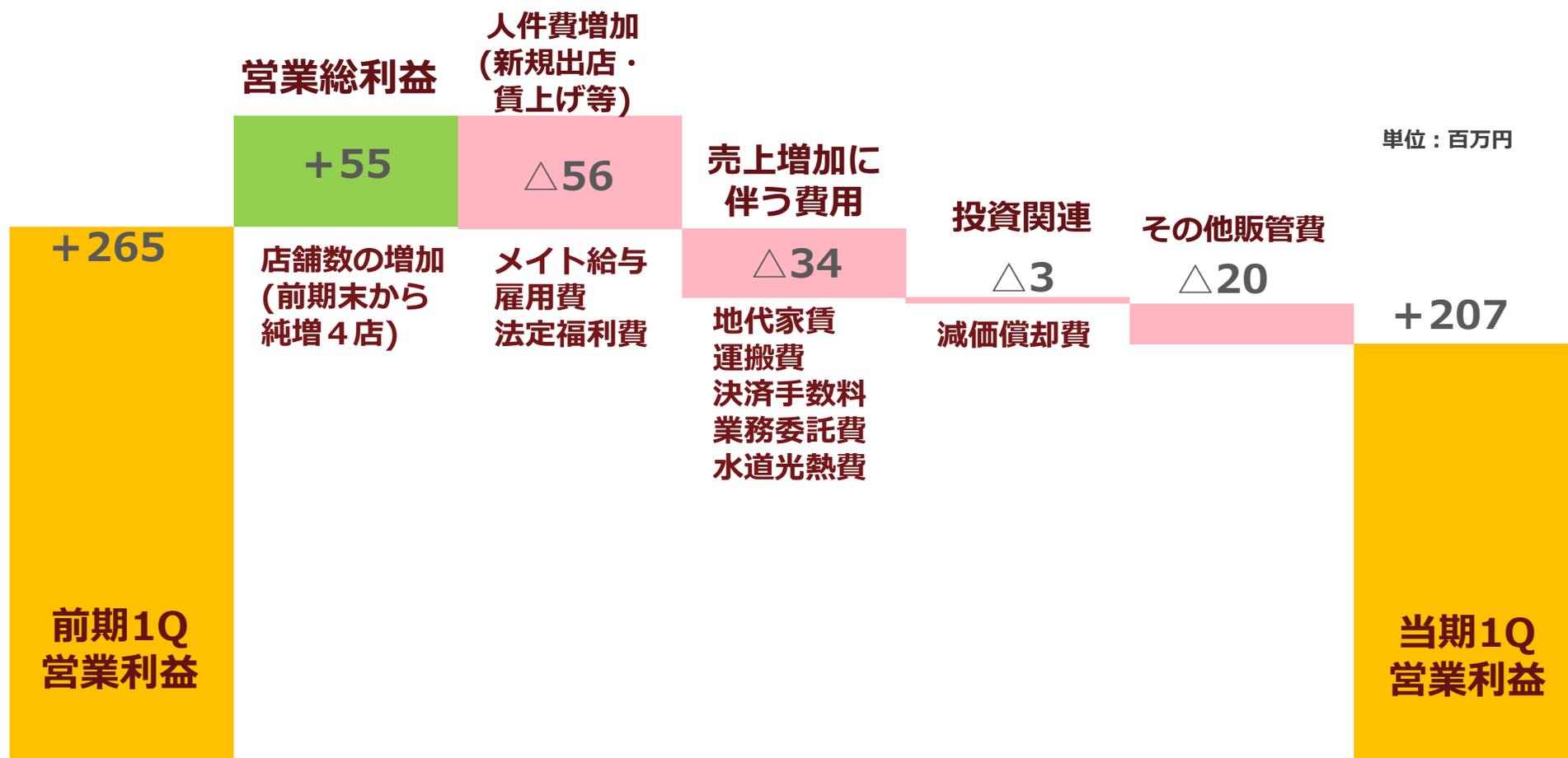
PL前期比較

(単位：百万円)

	2024/9期 1Q実績	2025/9期 1Q実績	増減	変動率	主な理由
流通総額	6,872	7,065	+193	+2.8%	・店舗数の増加（前期1Q末から純増17店）
営業収益	1,978	2,064	+86	+4.4%	・流通総額の伸びによる増加
売上総利益	1,839	1,846	+7	+0.4%	・流通総額の伸びによる増加
売上総利益率 (流通総額ベース)	26.8%	26.1%	△0.7pt	-	
販管費合計	1,630	1,717	+87	+5.3%	・新店稼働による増加（人件費、店舗関係費等） ・流通総額の増加による変動費（地代家賃等）の増加 ・既存店改装による修繕費の増加 ・物流強化に伴う費用の増加
営業利益	265	207	△58	△21.7%	・販管費の増加
営業利益率 (流通総額ベース)	3.9%	2.9%	△0.8pt	-	
経常利益	261	203	△57	△21.9%	
税引前当期純利益	261	165	△96	△36.7%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	144	70	△74	△51.5%	

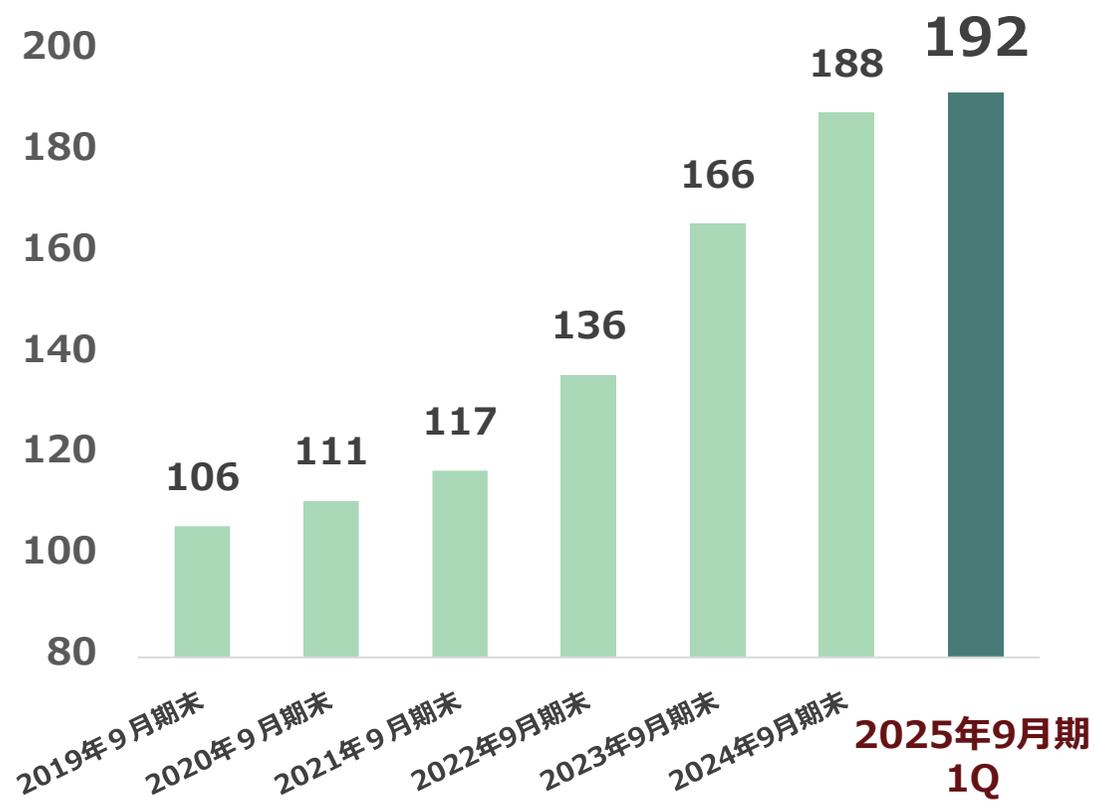
営業利益の増減要因

新規出店に伴うメイト給与、売上増加に伴う地代家賃や運搬費が大幅に増加。



店舗数190店舗を突破 今期は既に6店舗出店し、今期目標20店に向け着実に増加

単位：店

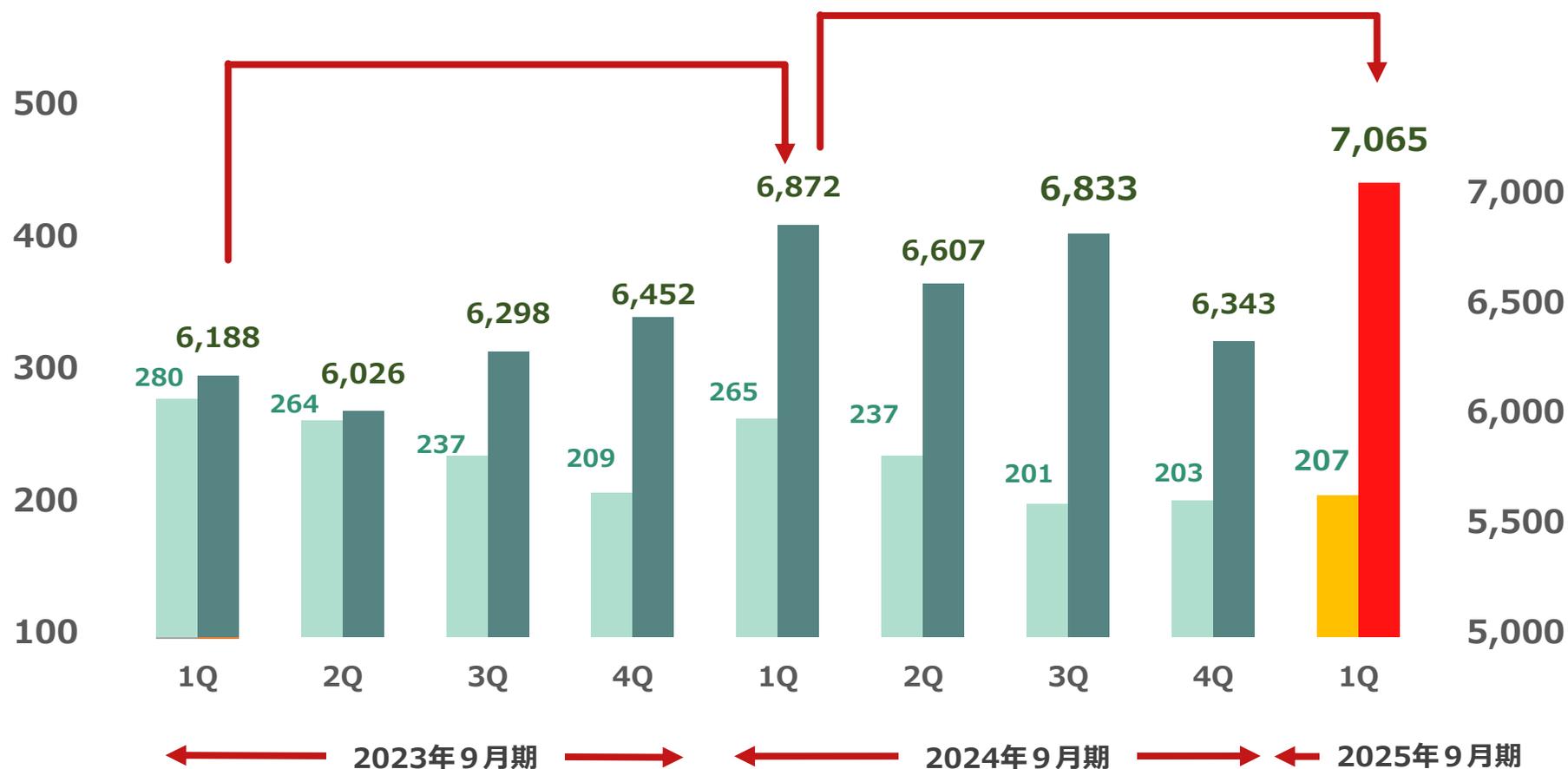


地域	当期出店数	当期閉店数	店舗数
北海道	—	—	4店舗
東北地方	—	—	4店舗
関東地方	4店舗	—	113店舗
中部地方	—	—	35店舗
近畿地方	2店舗	—	18店舗
中国・四国地方	—	1店舗	8店舗
九州地方	—	1店舗	10店舗
合計	6店舗	2店舗	192店舗

四半期ごとの流通総額と営業利益の推移

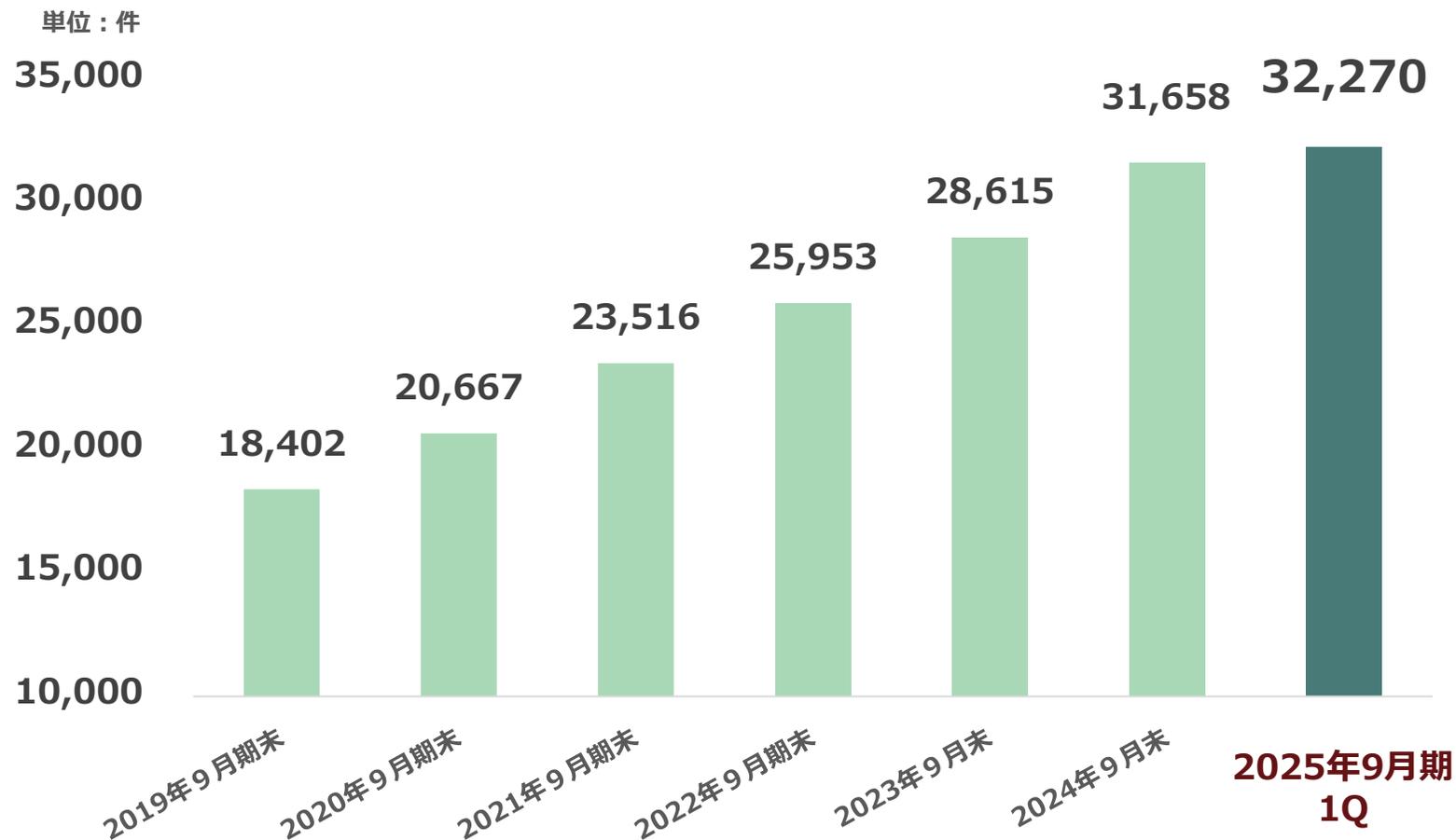
営業利益 (左グラフ)
単位：百万円

流通総額 (右グラフ)
単位：百万円



累計登録生産者数の推移

新規出店に伴う生産者開拓と並行して、
既存店舗の追加開拓も推進し、累計登録者は順調に推移



登録生産者数：「わくわく広場直売所会」へ登録された生産者の各期末時点の件数

既存店の活性化、魅力ある売り場への改装を実施

今期は、2024年12月までに32店舗の改装を行い、
該当店舗全体として、改装前と改装後の直近では、
日販103.2%増と伸長！



小商圈小規模店舗の出店

商業施設以外の出店促進として、
小商圈小規模店舗の店舗展開をスタート。
我孫子つくし野店を出店(2025年1月22日オープン)



- 本資料の作成に当たり、当社は当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としています。また、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合があります。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますので、当社として、必ずしも達成を約束するものではありませんが、事業計画を見直した場合など、記載内容に重要な変更が生じた場合には、速やかにその内容について開示いたします。
- 当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化や顧客のニーズ及びユーザーの嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。
- 本プレゼンテーション資料・データの無断転用はご遠慮ください。
- 事業計画及び成長可能性に関する事項のアップデートは各事業年度ごとに、本決算後12月頃迄を目途として開示を行う予定です。